

# 親子の手紙

令和五年度

親子の架け橋「筆啓上」



心の教育推進協議会

令和五年度 親子の架け橋「筆啓上」親子の手紙



11月1日は「いしかわ教育の日」

11月1日～7日は「いしかわ教育ウィーク」



いしかわ教育の日  
シンボルマーク

〔印刷用の紙にリサイクルできます〕

ママ、ぼくは「**椰由汰**」っていう名前が大好きだよ。かっこいいもんね。でも最近さいきんは、少しすこだけ「**翔平**」もかっこいいなって思うよ。だって、憧れあこがの大谷選手おたにせんしゅだから。ピッチャーでホームランを沢山打つのが、ぼくの夢ゆめだよ。

川田 椰由汰（小1）  
金沢市

心臓病しんぞうびょうで生まれた**椰由汰**。  
ご神木しんぼくの**椰**の木から、神かみのご加護かごがあり、  
数えられない無限むげんの可能性かのうせいがありますようにと  
祈りいのを込めた名前。  
今では、病気が治り、野球やきゅうが大好きな**椰由汰**。  
ママは、貴方あなたの夢を精一杯せいいっぱい、  
応援おうえんしてるよ。

川田 陽子（母）

チラシの切れ端はしに書いてあった

「ままいつもあり」の文字。

「がとう」を書くスペースがなくて

そのまま放置ほうちされていたあのチラシ。

ひびきが初めて書いてくれた手紙てがみ。

そっとお財布さいふの中なかにしまったんだ。

一生たからものの宝物たからものなの。

多々見たたみ  
葉奈かんな  
(母)

ちらしのおてがみ、

みつけてくれてうれしいよ。

すてないでおさいふに

しまっていたのしらなかつたよ。

じょうずにかけなくて

あきらめたおてがみなのに、

ままのたからものにしてくれて

ありがとう。

多々見  
陽輝ひびき  
(小1) かほく市

おじいちゃん

いつもさん歩ほにつれて行っていくれてありがとう。

おじいちゃんがいつもいっしょに

さん歩につれて行っていくれていたのに、

さいきん行けていないけど

こしがなおったら

またいっしょに行こうね。大好きだよ。

榎谷かばや 知里ちさと（小2 小松市）

よく二人でさん歩に行ったね。

さん歩に行く前まえにさん歩コースの

地図ちずを作つくってくれたね。

その地図の中におじぞうさんがあり

「ジィジのこしがなおるように」と

お願いねがしてくれてありがとう。

こしなおったら、また、さん歩しよう。

加藤かとう 博臣ひろのぶ（祖父）

さらあらいしている手は、  
ガサガサだね。

でもみんなのためにがんばっている手だね。

ありがとう。

これからは、すこしだけ、おてつだいするね。

そしたらガサガサは、はん分ぶんこでできるね。

ママいつもありがとう。大すぎ。

梅田 うめだ  
美鈴 みすず  
(小2 珠洲市)

ごめんね。

ガサガサでチクチクしているね。

でもこの手は頑張がんばった証あかしなの。

我慢じまんできる手だよ。ママは大丈夫だいじょうぶ。

ガサガサになった分だけ、あなたたちが

その分幸しあわせになるだけ。元氣げんきに大きく育そだってね。

大好きだいすだよ美鈴。

梅田 うめだ  
ひろ子 ひろこ  
(母)

わたしが一番とく意なお手伝い知ってる？  
それは味見だよ。

「いつもおいしいしか言わないんだから」

とママは言うけど、

今は勉強中だから、よく分からないんだ。

漢字や計算といっしょで

くり返しが大切だよね。

瀧田 彩羽（小4 白山市）

「味見お願い」

と言うと飛んで来る彩羽。

お母さんも「おいしい」と言わせたくて

勉強して味付けのレパートリーを

増やしてるんだよ。

それが母の味として記憶に残って、大人になったときに

思い出してくれるとうれしいな。

瀧田 康子（母）

「環たまきが思おもっているほど、

お母おむさんは、完かんべきじゃないよ。」

前まえにお母おむさんそう言いってたよね。

けど、一いっし生しょうけんめい、

わたしをそだててくれたお母おむさんを、

わたしは、とてもほこらしく思おもうよ。

めいわくかけ係がかりより

松村まつむら 環たまき  
(小4 津幡町)

「大丈夫だいじょうぶだよ。」

「そんな時ときもあるよ。」

と笑わらいながら言いってくれる環たまきは、

お母おむさんのダメだめな所ところを受うけいれてくれる最さい高こうの娘むすめです。

たまにでる大人おとなびた誰だれ目め線せん？

と思こう言こと葉はもかわいいよ。

毎まい日にち楽たのしませてくれてありがとう。

松村 恵めぐみ  
(母)

小さい頃から身長がなかなか伸びず

小さいめいちゃん。

身長が低くても勉強や運動を

一生けん命がんばっている姿がとても大きく見えます。

心もやさしいめいちゃん。

少しずつ大きくなっていく

めいちゃんが楽しみです。

小池 奈津子(母)

わたしは、みんなより体が小さくて

友だちにチビッコと言われても、

気にしないよ。

だから体が小さくても、いっしょうけんめい

勉強や運動など出きることを

さいごまでがんばるよ。

それからごはんもたくさんたべるね。

小池 芽依(小4 内灘町)

夜中に仕事から帰って来ると  
真つ暗な中で一人で寝ている柚乃。  
寝ているのに「ただいま」と  
声をかけると必ず「おかえり」と  
返事をしてくれるね。  
せつかく夢を見て寝ているのに  
起こしちゃってごめんね。

南 恵子(母)

ママ、あやまらないで。  
ねているよ。  
なぜかママの声だけ聞こえるんだよね。  
なんでだろうふしぎ。  
きつとママの声を聞きたいんだよ。  
ゆめよりもママの声の方がいいよ。  
もっといいゆめ見れるよ。これからも声かけてね。

南 柚乃(小4 かほく市)

一つ、へんな心配するな！  
 二つ、注意をたくさんするな！  
 三つ、ずっとかまってくるな！  
 今私は思春期です。  
 言いたくないこともあります。  
 でも全部やさしさって知ってるよ。  
 でも一人の時間もほしいかな。

村井 心結（小6 小松市）

一つ、心配症の母卒業！  
 二つ、口うるさい母卒業！  
 三つ、いつまでも子供扱いの母卒業！  
 思春期、反抗期は親の子離れの  
 練習の時なのかもしれない。  
 困った時や辛い時は  
 いつでも甘えてきてね。

村井 茜（母）

この前「魚の三枚おろしやってみたい」って  
言った時挑戦させてくれてありがとう。

お母さんが分かりやすく教えてくれたおかげで  
出来るようになったよ。

魚さばくの楽しい。

自信ついたし

これから魚は俺に任せて！

豊田 蒼（小6 宝達志水町）

正直、三枚おろしは

難しいから蒼にはまだ早いって思ったけど、  
チャレンジさせてよかった。

大人が子どもの限界を決めつけたらダメやね。

一生懸命な姿、楽しんでさばいとる姿見て  
嬉しかったよ。

これから魚頼むよー！

豊田 祐子（母）

いつも家事をしてくれてありがとう。

昔は、あたりまえだと思っていたけど、  
今、思うと、

とても大変なことをしてくれているんだな  
と思ひしらされました。

これからは、子どもにもたよっていいんだよ！  
またよろしく。

山崎 稜生（小6 輪島市）

「かあちゃん」と呼ばれる時は

何かしらのお願いだっただ日々。それが少しずつ  
「これやっつくね。」

「何かすることある？」

という言葉に変わり私の方から  
お願いする事が増えてきました。

これから頼りにしています!!

山崎 志保（母）

「お母さん絶対に迎えに行くから」  
まだ幼かった頃にした約束。

先日、震度6強の地震があった時、

ばあちゃんの中を押し、一緒に避難してくれたね。

約束を覚えていた事、

ばあちゃんと自分を守った事。

本当に有難う!!

今井 麻紀子(母)

正直その約束は忘れてた。

あの時は、TVで見た東日本大震災の映像が頭にうかんで

「逃げなきゃ」

そういう気持ちで、

ばあちゃんと必死にひなんしたんだ。

でももう大丈夫。

だから絶対に迎えに来てね、お母さん。

今井 瑛次(小6 珠洲市)

朝にけんかをしてしまった時でも、

「いってきます。」

「いってらっしゃい。」

の言葉で今日も頑張ろうと思えるよ。

うまくいかない日の夜の

「おやすみ」は心が楽になるよ。

毎日ありがとう。これからも言葉を大切にしようね。

山口 翔大（中1 野々市市）

喧嘩した朝も、嫌なことがあった夜も

必ず挨拶はしようねと約束したよね。

この手紙を読んで、面倒くさそうに言う

「いってきます」や

無愛想な「おやすみ」が

愛おしく感じて涙が出たよ。

こちらこそ毎日ありがとう。

山口 真由美（母）

ママとつぜんだけど、  
私わたしって文章ぶんしょうより短歌たんか好きすじゃん？  
だから短歌たんかで思おもいを伝つたえるね。

ここで一首いっしゅ

母ははいない 休日きゅうじつ気づく 忙いそがしさ

言いえない本心ほんしん 「無理むりしないでね」

…どう？上手うまくない？

土一どいち のぞみ(中2) 宝達志水町

短歌、上手いね！

それではママからもお返事へんじを。

「腕うでのあざ 部活ぶかつの努力どりよく 物語ものがたる

頑張がんばる君きみを 応援おうえんしたい」

忙いそがしくて、

頑張がんばるのぞみを支さえる事ことが出来できるのは

嬉うれしいもんだよ。

土一 美希みき(母)

おふろあがってからお母さんと行く  
すずしい夜の時間が大好きだよ。

いつも二人きりで話したり星を見たりするのが、

一日の終わりに感じがあるね。

「明日も頑張ろう。」って思えるよ。

いつもありがとう。

お母さん大好き。

山澤 有結（中2 志賀町）

どんな事があった一日でも

あゆくと夜空を見上げて二人きりで

話をするあの時間は、

星が輝いていなくてもぬるい風でも

最高の時間だよ。

最近、時々邪魔をして混ざってくる

お父さんに笑えます。きつと羨ましいんだね。

山澤 鳴美（母）

オセロで何度も

こてんぱんにまけても

めげずにいどんでくるじん君を

カッコイイとおもっています。

これからも

まけたりしっぱいしたりしても

あきらめずに

ちょうせんできる人に

なつてください。

とうちゃん

おせろをしているときたのしい。

でもかったことがないから

かちたい。

かってみたいから

がんばる。

とうちゃん

またおせろをしようね。

つきやるときかちたい。

大杉 祐二(父)

大杉 仁之助(小1) 加賀市

いつも、しゅうだんとうこうの

しゅうこうばしよまで

ついてきてくれて

ありがとう。

「いってらっしゃい」のことばが

わたしのこころを

ささえてくれて、

がっこうでも

がんばっているよ。

小学校まで歩いて30分。

大きなランドセルを背負って

毎日行けるのかなと

ずっと心配してきましたが、

笑顔で

「行ってきました！」と言って

歩いていく背中を見て、

頼もしく思っているよ。

これからもずっと応援しているよ。

山本 佳澄(小1) 白山市

山本 佳七子(母)

ねるまえにおかあさんと  
おはなしするじかんが、  
いちにちのなかでいちばんすき  
おかあさんとはなすと、  
がつこういきたくないなつて  
きもちが、  
あしたもがんばるぞ！  
にかわるんだよ。  
またきようも  
いっぱいはなしたいな。

酒井 颯瀬（小1 金沢市）

寝る前のお話タイム。  
お母さんも、一日の終わりの  
その時間が一番好き。  
いつも妹達にゆずつて、  
何でも我慢している、  
とっても優しいお兄ちゃん。  
その時間は、颯瀬とだけの  
特別な時間だよ。  
ずっとずっと話そうね。

酒井 はるか（母）

はじめて妹が、眼科に行った時  
一緒につきそってくれたなな。  
しりよくけんさのやり方が  
わからない妹に  
必死に説明してくれて、先生に  
「妹さんはお母さんが二人いて  
安心ね。」  
と言われたね。  
これからも頼りにしてるよ。

酒井 香（母）

いもうとがこまっていたから、  
ゆびをつかつてせつめいしたよ。  
そしたら、せんせいに  
「おかあさんみたい」って  
いわれてちよっと  
はずかしかったよ。  
だけどもまみたいっていわれて  
うれしかったよ。  
ままごう、がんばる！！

酒井 那奈（小1 津幡町）

パパ、  
 まいあさおうちをでるときに  
 ハグしてくれてありがとう。  
 あせくさいなって  
 おもうひもあるけど、  
 でもうれしいよ。  
 パパのハグは、わたしに  
 げんきとゆうきをくれる  
 おまじないだね。  
 よし！きょうもがんばるぞ！！

濱野 愛（小一 津幡町）

あいちゃん、  
 知らなかったの？  
 パパは魔法が使えるんだ。  
 世界中でたった一人の  
 あいちゃんにしか効かない  
 魔法のハグだよ。  
 一日を楽しく過ごせるように  
 願いを込めているんだ。  
 いくつになるまで  
 ハグさせてくれるかな…

濱野 孝志（父）

いつしょにおかいものにいくと、  
 うしろからちからいっぱい  
 「ぎゅー」とだきつき  
 「だいすき。」  
 といっくれるあおい。  
 あおいの「ぎゅー」は  
 ママのげんきになるおくすり。  
 こんどママから  
 「ぎゅー」していいかな？

たくさん  
 「ぎゅー」していいよ。  
 おかいものしてるとき  
 ママに  
 「ぎゅー」したら  
 ママのおいがするし、  
 ころろが  
 ぼかぼかになって  
 きもちいいよ。

品川 美代子（母）

品川 夏葵（小一 かほく市）

ばばは、しごとで  
 なにをしているの？  
 ばばが、のっているすいーぱーは  
 なにをするくるまなの？  
 ぱぱがしごとで  
 たいへんにおもうことはなあに？  
 いつもありがとう。  
 けがしないように、きをつけて  
 これからもがんばってね。

長谷川 湊士(小1 宝達志水町)

パパは仕事で、  
 車とが通る道路どろをキレイにしたり  
 壊れた所ところを直なおしたりしています。  
 スイーパーは  
 道路どろの汚れよごやゴミごみを走はしりながら  
 掃除そうじする車くるまだよ。  
 夏なつは暑あつくて冬ふゆは寒さむいけど、  
 怪我けがしないように頑張がんばるね。  
 湊士みなとも勉強べんきょう頑張がんばってね！

長谷川 和也(父)

「お母さんは、葉那かなの事ことが  
 好きすだから怒おこるんでしょ。」  
 と聞いてきたね。

「そうだよ。大切たいせつで好きだいすきだから  
 危あぶない事ことや人ひとの嫌いやがる事ことを  
 してほしくないの。」  
 と言うと  
 ニコニコしてくれる笑顔えがおに、  
 いつも癒いやされてるんだよ。

鷹合 仁美(母)

お母さんに怒おこられると泣なきながら  
 「お母さんは葉那かなの事ことが  
 嫌いきらいねんろ。」  
 と言うと

「お母さんは葉那かなの事こと  
 大好きだいすきですけど。」って  
 言いってくれるね。  
 ビックリして涙なみだが止とまって  
 うれしい気持きもちちになったよ。  
 ありがとう。大好きだいすきだよ。

鷹合 葉那(小1 七尾市)

いのちのべんきょうをしたよ。  
1cmのときから

おなかの中で

まもってくれてありがとう。

おなかからうまれてからも

大じにそだててくれて

ありがとう。

じ分ぶんのためにはたらいてくれて

ありがとう。

ママのおなかのなかで、  
小さいのちが

いつしよけんめい生きていることに

かんどうしたよ。

どんなことがあっても

このいのちをまもう、

大じにそだてようとおもったよ。

菜々帆は

かぞくみんなのたからものだよ。

小西 菜々帆（小2 能美市）

小西 真由美（母）

ママね、

おとちゃんと一緒いっしょにいると

成長せいちょうするんだよ。

あたらあたら新しいことに挑戦ちゅうせんする姿すがた、

弟おとうとのためにがまんする姿、

全部ぜんぶの姿から

たくさん学まなんでいるんだよ。

たまに失敗しっぱいもしちゃうけど、

それが人間にんげん。人生じんせいって楽しいね！

おとなって

しっばいするの？って

おもったけど

いがいとするんだなあ。って

おもったんだ。だから、

「しっばいはせいこうのもと」って

いうことばはたいせつだなあと

おもったんだ。

たくさんしっばいしちゃうおうね！

山本 麻梨菜（母）

山本 乙華（小2 金沢市）

ばばちゃん、ぼくのすもうを  
おうえんしてくれて、  
ありがとう。

ばばちゃんのごはんをたべると、  
パワーが出て、

思い切りけいこができるよ。

いつか、りょうごくに  
つれていくね。

大きくなったら

よこづなになるからね。

西田 旭(小2 七尾市)

旭はほんとうにすもうが  
大すぎだね。

ばばちゃんも旭が

すもうをがんばっている

すがたをみて、

パワーをもらっているよ。

おいしいごはんを作るから、

たくさん食べてね。

ゆめがかなうのを

楽しみにまっているからね。

藤井 恭子(祖母)

お母さん

わたしが休みの日おふとんで、

へんな歌をうたっておもしろいよ。

でもわたしが学校の時

おこしてくれてありがとう。

また休みの日

わたしと妹とお母さんで

へんな歌、うたおう。

だいすきだよ。

いつもありがとう。

川江 史織(小3 加賀市)

あの変な歌には

直接言うには

少し照れくさい言葉を

歌っているんだよ。

変なリズムに、変な音程、

決して同じ歌は歌えませんが、

その時その瞬間に、

史織に伝えたい言葉を

歌にしています。

今度は歌詞にも注目してみてね。

川江 聡美(母)

ママへ  
ママの本がすきなこと  
とてもすてきだなって思うよ。  
ママはわたしにおすすりめな本も  
かりてくれるし、  
わたしがすきそうな本も  
かりてきてくれるし  
ママに図書館の<sup>としよかん</sup>仕事  
とても合うよ。  
これからも仕事がんばってね。

大下<sup>おおした</sup> 笑麻<sup>えま</sup> (小3 加賀市)

こんな本は好きかな？  
もう少し<sup>すこ</sup>字の多い<sup>おほ</sup>本も  
読めるようになったかな？  
とえまのことを<sup>かんが</sup>考えながら  
楽しく本を<sup>たの</sup>  
えらんでいるよ。  
えまも自分の<sup>じぶん</sup>好きなことを  
楽しくがんばってくれたら、  
ママはうれしいです。

大下<sup>おおした</sup> 志麻<sup>しま</sup> (母)

お休みの日でも早おきして、  
たまごやきを作ったり、  
せんたくものをかたづけたり、  
お手伝い<sup>てつだ</sup>いがんばってくれて  
ありがとう。  
でも、たまにはすきなだけ  
ねてすごしても良いんだよ。  
それもお休みの  
みりよくだからさ。

永井<sup>ながい</sup> 宏明<sup>ひろあき</sup> (父)

それはパパがおきたくないから  
言っているんでしょう。  
でも、それだけ  
毎日<sup>まいにち</sup>お仕事を  
がんばってくれているからだよね。  
ありがとう。  
だから、お休みの朝<sup>あさ</sup>は  
わたしがちょっとがんばるから。  
パパはどうぞお休みなさい。

永井<sup>ながい</sup> 美晃<sup>みさら</sup> (小3 小松市)

おふろの時間、  
 パパと楽しく遊んだり、  
 今日あったことや、  
 こまっぺている事など  
 色々話したりしています。  
 あせだくになるけど、  
 その時間は、  
 楽しくとくべつな時間だから、  
 これからもつづけていきたい。

吉岡 蓮翔 (小3 小松市)

おとまりの仕事が  
 たくさんあって、  
 ゆっくり話をしたくても、  
 テレビやメディアに意しきが  
 いつてしまうので、  
 パパもおふろでゆっくりと話が  
 できる時間が大好きです。  
 これからも、男同志の話を  
 たくさんしようね。

吉岡 和信 (父)

いつも習字のれん習中に  
 「がんばればうまくなるよ」と  
 おうえんしてくれるね。  
 いつもその言葉で  
 ゆう気が出るよ。  
 と中でうまく書けなくて  
 泣きそうになった時は、  
 元気になるよ。  
 これからもがんばるから  
 おうえんしてね。

梅村 佳菜子 (小3 内灘町)

いつも習字の練習、  
 本当にがんばっているね。  
 良い結果が出て、  
 思うように評価されなくても  
 「次、がんばろう！」と  
 前向きなあなただから、  
 ママは自信を持って  
 声をかけているよ。  
 これからも二人三脚で  
 がんばろう!!

梅村 睦子 (母)

「ねえ、聞いて。」  
 楽しかった事、嬉しかった事、  
 ちよっぴり悲しかった事…  
 毎日、たくさんの話をしてくれる  
 芽愛。きょうだいが多くて  
 「ちよっと待って。」って  
 言ってしまう事が多いけど、  
 次はパパの番。  
 「ねえ、聞いて。」

田村 一騎（父）

わたしも、パパの話をついばい、  
 もっと聞きたいな。  
 いつもしてくれる  
 パパの話聞いていたら、  
 おもしろい話がたくさんで、  
 わたしは、パパが  
 おもしろいなと思っているよ。  
 パパも、  
 たくさん話をしてね。

田村 芽愛（小3 内灘町）

お母さん  
 わたしたまにお母さんの  
 まくらをだいてねるの。  
 理由は、一人でねるのが  
 まだちよっとこわいから  
 だいてねているの。  
 だからずーっといっしょにいて。  
 世界の中で一番すきな人だから  
 わたしよりさきになかないでね。

読んでびっくりしました。  
 もうそんなことも考えるくらい  
 大きくなったんだね。  
 長生きできるように気をつけます。  
 きっともうすぐ一人でねるし、  
 って言うんやろうけど、  
 あまえたい時は  
 ハグして下さい。  
 たまにはパパにもね。

水株 如菜（小3 かほく市）

水株 摩美（母）

お母さんが毎日聞くこと。

「今日何が一番楽しかった？」

さいしよは、

自分で上手く伝えられなかった。

でも、今はちがうよ。

伝えたい事がたくさんあって、

もつと聞いてもらいたいよ。

これからも

伝えていくね。

「今日、何が一番楽しかった？」

毎日、学校から帰ると

聞いていたよね。でも、

いつからか聞かなくなつた。

なぜかって。それは自分で

話してくれるように

なつたからだね。

何でも話してくれて、

すごく嬉しいよ。

楠くすのき 悠花ゆうか (小3 羽咋市)

楠さやか 沙耶華さやか (母)

ぼくは、お母さんが

すごいと思つている。

だつてすごく早くおきるから。

ぼくも早くおきてるけど

やっぱりお母さんにはかてない。

いつかかてるといいな。

でもやっぱりかてない。

めざましどけいで

おきてるのにすごいね。

ふふふ。実はお母さんは

一人でくらししていたころ、

毎日ねぼうしていたくらい、

早起きが苦手やつてんよ。

でも蒼人が生まれてから、

いいお母さんになろうと思つて、

がんばつて

起きるようになったよ。

蒼人のおかげやね。

島田しまだ 蒼人あおと (小3 中能登町)

島田あかね 茜あかね (母)

運動会うんどうかいで久しぶりひさに  
遙夏はるかをおんぶおんぶしたね。

あなたの成長せいちょうを背中せなかで受け、  
うれしくなつたよ。

でも、次つぎの日に  
全身筋肉痛ぜんしんきんにくつうになつて

つらかつたよ。だけど、

お母さんはこれからも

遥夏の成長を

全身で受けとめていきたいです。

三澤 知子(母)

ひさしぶりにお母さんに  
おんぶしてもらつて

とてもうれしかったよ。

きんにくつうになつたら、

すぐにはるにいつてね。

そうしたら

マッサージしてあげるよ。

だからこれからも、

おんぶやだつこを

たくさんしてほしいな!!

三澤 遥夏(小3 珠洲市)

ねえ、ママ、

どうして大人はおこるの。

どうしておこつても、

ごはん作つくってくれるの？

なんでだろう。つて、

おこつてるのに

ごはん、せんとくもの、

なんでやってくれるの。

これが自分で思ったこと。

こんど教おしえてね。

前田 捺稀(小4 金沢市)

なつちゃんのことことが嫌きらいだから

おこつてるわけじゃないんだよ。

ダメなことをちゃんと

わかつてもらつて

成長せいちょうしてもらうために

おこるんだよ。

嫌いじゃないからご飯はん作つくったり、

洗せんたくしたりするんだよ。

大好きだよ。

前田 洋恵(母)

ママ、  
私はママの仕事の悩みを  
たまに聞いてると  
泣きそうになる時があります。  
私はなんにもできないけど、  
なんにも役に立てないけど、  
ずっとママが大好きで、  
子供ながらに心配してます。  
たまには一人の有給もとってね！

ママも陽菜くらいの頃から  
お母さんが無理をしていないか  
心配していたな。  
心配かけてごめんね(笑)  
でもママは  
陽菜という心強い味方がいるから  
無敵だよ!!  
ママはつくづく  
陽菜のママになれて幸せだよ。

山田 陽菜(小4 金沢市)

山田 さやか(母)

去年、じいちゃんに誘われて  
実家の畑で  
一緒にイチゴ狩りをしたね。  
でも、今年からは  
じいちゃんのない  
イチゴ狩りになったね。  
これからも  
イチゴ狩りの季節になると、  
じいちゃんを思い出すのかな。

「おーい、快斗。」  
イチゴ畑でぼくをよぶ声。  
お店のイチゴみたいじゃないけど、  
おいしかったね。  
今年もイチゴがりをしたけど、  
じいちゃんがいなくて  
さみしかったね。  
「快斗、うまいか。」  
空から聞こえてきそうだね。

家蔵 美香(母)

家蔵 快斗(小4 志賀町)

「お母さんの声、  
大きいし恥ずかしいわ。」  
試合のたびにあなたは言うね。  
だから、ぐっとこらえて  
拍手で応援してるんだけど、  
つつい心の声が出ちゃうんです。  
本当はありったけの声援で、  
あなたの背中を押ししたいな。

西野 恵(母)

星に詳しいそら。  
昔は夜空を見ても  
きれいだなあと  
思うだけだったけど、  
そらから星の名前や星のことを  
沢山教えてもらえるので  
そらと夜空を見るのが  
とても楽しいです。  
これからも一緒に  
夜空をいっぱい見ようね。

廣瀬 久美子(母)

いつも卓球の試合の  
用意をしてくれたり、  
お弁当を作ってくれたりして  
ありがとう。卓球の試合で  
「がんばれ」と  
大声で応援してくれて  
ぼくは少しはすかしいけど  
その応援でがんばろうと思うよ。  
これからも応援お願いします。

西野 巧真(小5 加賀市)

ぼくも昔は、星を見ても  
何も分からなかったけど、  
図かんや本などで  
たくさん勉強したよ。  
だから夜空を  
お母さんと見るのが楽しくなり、  
前見た星より  
お母さんと見る星の方が  
かがやいていたよ。  
またいっぱい教えるね。

廣瀬 そら(小5 小松市)

ママは、  
 「負けんよ。」と、よく言うよね。  
 小さなことでも大きなことでも、  
 負けないようがんばるママを  
 私はずいと思う。  
 だから、  
 私もママみたいに、  
 負けずに元気で  
 すごしたいなーと思った。  
 これからも元気でいてね。

田口 心那 (小5 内灘町)

「まいっか。」という言葉を  
 よく使っているね。  
 最初はすぐに  
 あきらめているように  
 感じていた言葉だけど、  
 見方を変えると、  
 とても柔軟なのかなと  
 思うようになったよ。  
 その人に合った言葉が  
 いろいろとあるんだね。

田口 恵 (母)

じゃが芋、たけのこ、  
 じいちゃんの畑でとれる  
 ぼくの大好きな野菜。  
 稲の成長の勉強して  
 野菜を育てるには  
 苦労が多いことが分かったよ。  
 じいちゃんの顔が日に焼けて  
 真っ黒なのは  
 畑仕事のためなんだね。  
 毎日ありがとう。

石田 一真 (小5 宝達志水町)

土を耕し種をまく。  
 芽が出たら世話をして育てる。  
 一真君の成長も同じだよ。  
 新鮮な野菜を食べて  
 元気にぐんぐん成長する  
 一真君。  
 雨が降っても暑い日も  
 成長する野菜。  
 じいちゃんにとっては、  
 全てが楽しい毎日だよ。

田邊 純郎 (祖父)

おばあちゃん  
いつもご飯を作ってくれたり、  
こまったときに  
話を聞いてくれたりして  
ありがと。  
そして七年間私のために  
お世話をしてくれてありがと。  
私も、おばあちゃんの  
お世話やお手伝いを  
いっぱいしようと思います。

紺谷 桜慈 (小6 加賀市)

桜慈と  
おじいちゃんおばあちゃんが  
一緒に生活することになった  
七年前、おばあちゃんは  
しゃがんで目線を合わせ  
ハグして大歓迎しました。  
六年生になった今、  
おばあちゃんは  
精一杯つま立ても  
桜慈にとどきません。

紺谷 泰子 (祖母)

お母さん、  
いつも指がいたいって言ってる。  
それを見て私は、  
なんとも思ってたけど  
今思ったら、  
お茶碗にしんげんに  
絵を書いているから  
指も手もいたくなるんだよね。  
お母さんががんばっているところ  
大好きだよ。

竹内 彩乃 (小6 白山市)

指が痛くてもお母さんは  
幸せです。九谷焼の器を  
使ってくれる人達に  
喜んでもらえるのが  
うれしいから。  
家で仕事をしていて彩乃が  
「ただいま！」って  
元気に帰ってきて、  
いろんな話をしてくれることが  
一番のお薬です。

竹内 一美 (母)

お父さんはよく  
「楽しんでものの勝ちだよ。」  
と、言ってくれるよね。

そのおかげで  
きんちようが抜けて、  
自信をもつことができるよ。  
だから、奏佑は  
お父さんの力になれるように  
これからもがんばるよ。

重田 奏佑（小6 金沢市）

奏佑はどんなことでも  
一生懸命だから、  
いつも楽しそうできて  
キラキラ輝いている。

どんなときも真剣だから、  
人の心を打つんだ。  
お父さんとお母さんは幸せです。  
そんな奏佑の成長を  
毎日見ることができのだから。

重田 良嗣（父）

「素直にね。」と何度  
言っても、

なかなか意地っばりの  
あまのじゃくが直りません。

あらの「あ」は  
あまのじゃくの「あ」と  
言っているけど、本当は  
あいしてるの「あ」だよ。  
一緒にいる時間が増えると  
似てくるのかな。

柳瀬 麻友子（母）

「素直にね。」と何度も  
言われているけど

なかなか素直になれない。  
つい調子に乗って

意地をはってしまう。  
はずかしくて、  
本当の気持ちを言うのが苦手だ。  
だから今も手紙を読んで  
温かい気持ちになったのは  
ないしょ。

柳瀬 新太（小6 金沢市）

朝、鏡の前に立つ私と並んで  
「お母さんと変わらんく  
なってきた！」

と大きな声で嬉しそうに  
背比べしてきたね。

そりゃそうか、もう12歳。

少しずつ大人になってきた

紗希を見てとても愛おしく感じる  
毎日です。

私とお母さんと鏡の前で  
一緒に並ぶと

「大きくなったねえ」

とお母さんがよく言うよね。

これから大きくなって、

もっとお手伝いもして

お母さんのこと助けるね。

そうしたらお母さんみたいな  
立派な大人になれるかなあ。

長 裕加子 (母)

長 紗希 (小6 津幡町)

何度も手紙で

自分の心を打ち明けていたよね。

でも、まだまだ

知ってほしいことがある。

それをいうときは、

今度は手紙じゃなくて、

直接話そ。そのときは、

何もいわないで

聞いてくれますか？

じゃあその時はよろしくね。

優梨ちゃんが思ったこと、  
感じたことを伝えたい時、  
しっかりと聞くね。

もしパパが聞けていない時は

「ちゃんと私の話を

聞いて！」

って注意してください。

優梨ちゃんの気持ちや考えを

大切にしたいと

思っているから。

川原 優梨 (小6 内灘町)

川原 正好 (父)

「野球やめたい。」

と言ったあなた。

辛い事から逃げるのも

立ち向かうのも

決めるのは晴一郎だよ、

と伝えた数日後、

「野球頑張る。」

と言ってくれて涙ができました。

どんな選択をしても、

母はいつまでも応援しているよ。

野球で怒られたり、

ヒジのけがもしてしまったりして、

あの時は野球が

怖かったんだ。

今も上手じゃないし

毎回怒られるけど、

大切な仲間と

野球ができることを

楽しもう、と思えるようになったよ。

いつも応援ありがとう。

天田 理恵(母)

天田 晴一郎(小6 かほく市)

自分の目標に向かって、

やったことのないことに

挑戦するって、ワクワクするけど、

勝手に涙が出てくるほど

こわいと思うなんて

知らなかったよ。

これからもがんばって

挑戦していくから、

涙が出たら抱きしめてね。

甘えん坊の末っ子が、

全力で頑張っている姿を

頼もしく思っていたけど、

涙が出るほど怖いと思うことが

あったなんて知らなかったよ。

いつでもギューって

抱きしめるから、

思いつきり

挑戦しておいでー!!

川下 葵子(小6 かほく市)

川下 和佳子(母)

「応援しとるからね」と  
二人から言われた。  
大事な試合だった。  
両親が応援しているのが  
よく分かった。  
母のひとときわ目立つ声が聞こえ、  
父の温かく  
そしてきびしい視線があつて  
それがうれしかった。  
試合がとても楽しかった。

竹田 龍ノ介(小6 かほく市)

ママとパパは、  
いつでも龍の全力応援団。  
龍がマウンドに立つ度に  
心臓ドキドキ。  
でも、大丈夫。  
龍が人一倍努力していることも  
知ってるよ。  
頑張った分が  
自分の自信につながる。  
目指せ日本一!! 楽しもうね。

竹田 愛子(母)

お母さん、  
いつもバレエの送りむかえを  
ありがとう。  
つかれてねてしまう事も  
多いけど、と中うっすら目を  
開けると、いつも楽しそうに  
運転しているよね。  
話したい事も沢山あるのに、  
それでまた安心して  
ねむってしまふよ。

岡部 紗来(小6 志賀町)

車の中は、唯一さらが  
ゆつくりできる時間だから、  
眠っていいんだよ。  
気持ちよさそうに  
眠る姿を見ると、  
それだけでお母さんは  
元気になるから。  
でも、おしゃべりしたい時は、  
いつだって  
ウエルカムです!!

岡部 雅子(母)

パパが居なくなつて  
もう三ヶ月経つたんだね。  
パパにも中学校の制服姿、  
見てもらいたかつた。  
パパに、陸上の大会、  
見に来てもらいたかつた。  
色んな事に挑戦して、  
パパに喜んでもらえるよう、  
これからもガンバリます。

川上 華奈(中1) 加賀市

パパも華奈の成長していく姿を  
見守り生きたかつたと思ひます。  
パパの優しい瞳は  
いつだって可愛くて仕方ない  
華奈を見ているから。  
華奈が笑顔でいられる様に  
母は傍に居るから安心して。  
きつとパパも一緒に  
居てくれる。

川上 智弥(母)

最近、  
お母さんと私の意見が合わず、  
少しけんかになるね。  
悪いとは思っているけど  
行動することができません。  
だから、これからは  
おたがいに意見をいい合い、  
もつとおたがいの事を  
知つていこうね。

優来と意見が合わず  
言い合つてしまうことがあるけど、  
ちゃんと自分の思ひを言つて  
話し合える親子だと  
思っているよ。  
これからもいろんな事話そうね。  
お母さんは優来が大好き。  
けんかしても何しても  
ずっと大好き。

杉江 優来(中1) 小松市

杉江 美喜(母)

最近、反こう期？で  
ムシしたり、口を開いても

生気な言葉を

言ったりしているけど、

本当は悲しくなったり、

「ありがとう」

と言いたくなったりするんだよ。

「ごめんなさい」

とは口に出せないけど

心の中では思っているからね。

武部 涼（中一 金沢市）

涼が生まれてから今まで、

お母さんは何度心の中で

「ごめん」

と唱えたことでしょう。

言い過ぎたとき、傷つけたとき、

つい当たってしまったとき…

お母さんも素直に

「ごめん」

を言えない。

親子って本当に似ているね。

武部 真紀（母）

「おなかに赤ちゃんがいます。」

エコー写真を見せながら

そう言われた時

とつてもうれしかったよ。

ママのおなかがだんだん

大きくなっていくのを

見てわくわくしてる。

今から大変だと思っけど

いつでも助けるからね。

あの時、どんな反応をされるか

ドキドキしてたけど、

喜んでくれて

とても嬉しかったよ。

大きなお腹を

ニコニコ触ってくれる事も嬉しい。

もうすぐ赤ちゃんに会えるね。

こはるの事、頼もしく感じとるよ。

ありがとう。

林 こはる（中一 津幡町）

林 紗也子（母）

お母さんの人生の中で、  
一番熱い一年になりました。  
何度も一緒に流した悔し涙。  
でも、そのおかげで  
自ら考え、  
踏ん張り強くなりましたね。  
最後に流した嬉し涙は  
一生忘れません。  
青春をありがとう。

桶作 光(母)

じいちゃんへ  
畑仕事や将棋、お疲れ様！  
いつもじいちゃんに  
反抗してごめんね。  
学校や買い物に行くときは  
「パチン！」と音が鳴るまで、  
タツチする日常は元気がでて  
一日がんばれそうな  
気持ちになるよ！

東 あいか(中1 かほく市)

結花もね、十三年間の中で  
一番思い出に残る  
一年になったよ。  
ソフトテニスを通して、  
これまで流した涙は必ず、  
強くなることに繋がると思う。  
これから壁にぶつかっても  
一緒に乗り越えていこうね。  
青春はこれからだ。

桶作 結花(中1 かほく市)

あいかへ  
一日の始まりの朝  
孫と手のひらを合わせ  
「パチン」としつかりした  
音を聞き出発する。  
これが、  
なんとも言えない  
良い気持ちです。  
がんばれよ。

東 健次(祖父)

「最後の一個

食べていいよ。」って

おかしとかを食べる時、

言ってくれるよね。

本当に嬉しいんだよ。

ありがとう。ときどきは

ママも最後の一個食べてね。

あと、料理も

もっと一緒に作ろうね。

ママのしたいことも教えてね。

ママも昔は、

「最後の一個を

食べて良いよ。」って

言われる側だったよ。

いらんのかな？って

思っていたけど、

りが生まれてから、

いらんいんじやなくて、

あげたいという

気持ちなんだと知ったんだよ。

出村 梨心(中1 穴水町)

出村 絵梨(母)

「行ってきます。」

私は今日も笑顔で手を振る。

「行ってらっしゃい。」

お母さんも笑って

手を振り返す。

お母さんの見送る手は、

私の背中をやさしく

押してくれる。

ほっとして、元気が出てくるよ。

いつだったかな。

朝、行きたくないと泣く侑希を

無理矢理連れていった日。

お母さんは侑希の気持ちに

寄り添えなかったのに、

侑希は自分の力で

いろんな不安を克服したね。

「行ってらっしゃい。

さすが我が娘。」

松岡 侑希(中2 金沢市)

松岡 歩(母)

いつもじいちゃんの昔の話を聞かせてもらって楽しんでます。じいちゃんと

ドライブへ行くとときも、色々な景色が見れて、それを絵に描くと、

すごいねっていつてくれて

私はもっと

絵をかきたくなります。

ありがとう。

山本 羽咲（中2 内灘町）

小学三年生で、大病を患い、自由のきかない身を支えながら、努力している孫、

変わるものならと

毎日思っている。

今、中学二年生になった。

今日も横に並び、

背をくらべて

大きな声で笑う。

嬉しい、本当に嬉しい。

高田 弘雄（祖父）

「ねえ、ちょっと見て。」

そう言って、推しが映った

スマホを見せてくれる

お母さんが好き。

テレビの前で推しを見て

さわぐ時間が好き。

「一番の推しは真琴やよ。」って

笑う、その顔が大好き。

今年も一緒にライブ行こうね。

スマホを見て

一緒に楽しんでくれる真琴が好き。

今まで知らなかった世界を

教えてくれてありがとう。

楽しくしているお母さんが

好きと言ってくれるけど

母の幸せは最推しの

真琴が笑顔でいてくれる事だよ。

この先も推す！

篠田 真琴（中2 志賀町）

篠田 小百合（母）

昔むかしから背比せいひらべしていたね。  
最近さいきんまでは

「まだばあちゃんの方が

大きいな。」とか言いってたのに。

もう越こしました。そしてもう中二。

真優まゆの成人式せいじんしきの着付け

ばあちゃんにしてほしい。

後七あと年、

元氣げんきに長生ながいきしてください。

だね。まゆと、

よく背伸せのびして背比せいひらべしていたね。

いつの間まにか気がつくとか

あなたの方が大きくなっていた。

上から目線めせんで ばあちゃん

縮ちぢんでいく?と、

いつも二人で笑わらっているね。

もう少すこし頑張がんばって

そばにいるよ。

佐味さみ 真優まゆ (中2 中能登町)

佐味さみ 美枝子みえこ (祖母)

いつも私わたしの背せ中なかを押おしてくれて

ありがとう。

幼おきない私わたしが初はじめて

「ピアノを習ならいたい」と伝つたえた時とき

「いいよ」と言いってくれた事ことが

嬉うれしくて、今いまも記憶きおくに

残のこっています。

これからも色いろ々な事ことに

挑ちよつせん戦せんできたら良いなと

思おもっています。

「耳みみが聴きこえないのに

音楽おんがくを習ならわせるなんて!」と

周まわりからは言いわれたけれど、

音ねを感じるかんる楽たのしさを

味あじわって欲ほしかったの。

これからも例たとえ難むずかしくても

優花ゆうかが心こころから好すきで

楽たのしく思おもえる方ほうを

選えらび取とってね。

いつも味方みかただよ。

大住おおずみ 優花ゆうか (中3 中能登町)

大住おおずみ 育子いくこ (母)